くにみ

【才108号】
昭和41年8月15日発行
非売品

発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

◎有線放送電話完成おめでとう・敬老の日おめでとう・体育の日おめでとう

9月15日＝敬老の日

国民みんなで　としよりを敬愛しよう

【写真】上　佐藤兵助さん
左　八島喜一さん夫婦

九月十五日……それはこれまで「老人の日」として老人福祉関係の人たちに親しまれてきたが、去る六月二十五日法律才八六号によって国民の祝日となり、その名も「敬老の日」と改められた。これにより老人の福祉に対する国民の関心は、一段と高めなければならない。多年にわたり社会に貢献してきた老人を、国民こぞって敬愛し、長寿を祝うとともに、国民の老人の福祉についての関心と理解を高め、老人もまた自ら心身の健康を保持し、老人が自らの生活の向上に努める意欲を高め、知識と経験を社会に役立たせるように努めることが必要である。

…八十才以上の長命者…

◎藤田　男一〇、女一六　計二六
斎藤政之助、小林タミ、奥山カヤ、東海林忠次郎、榊よち、佐藤粂次郎、斎藤源次郎、本田セツ、山崎キヨノ、阿部喜平、阿部ハツ、大村ヱナイ、鈴木スイ、阿部ヨシノ、徳江源助、徳江ホノ、阿部チカ、大和田幾三、佐久間喜一、宮沢マツ、伊勢セン、宍戸まん、仲田しも、秋月あき、武田荘八、佐藤善三郎

◎石母田　男二、女一〇　計一二
後藤アキ、阿部ハク、斎藤うら、市川ナジ、佐藤ヱナ、宍戸ツイ、宍戸チカ、佐藤喜太郎、松浦弥市、佐々木ワキ、斎藤トメ、斎藤フク

◎山崎　男五、女四　計九
村上ヒロ、八島喜一、高橋喜蔵、浅野善蔵、八島林次郎、八島キチ、浅野ハル、稲村専吉、吉田ヨネ

◎小坂　男二、女〇　計二
佐藤忠一、佐藤彦吉

◎泉田　男三、女四　計七
横山喜蔵、紺野広三郎、宮崎トリ、佐藤サツ、安藤フサ、佐藤兵助、阿部イチ

◎鳥取　男二、女三　計五
髙橋忠次郎、髙橋ヅン、瀬戸安一郎、後藤ミヨ、遠藤テツ

◎内谷　男六、女〇　計六
鴨田清七、熊坂善兵ェ、菅野喜助、菅野広三郎、安藤庄吉、古内初太郎

◎森山　男一、女九　計一〇
谷津ユン、佐久間ユキ、宍戸サト、佐久間惣次郎、佐藤ナチ、佐藤ナカ、小幡くら、佐藤チウ、佐藤ハツ、佐藤シモ

◎徳江　男一、女九　計一〇
斎藤サン、八巻ハツイ、斎藤ミ子、八巻キヨ、後藤ハル、宍戸シモ、後藤カネ、大波ヱキ、徳江トミ、蓬田重吉

◎塚野目　男〇、女三　計三
菊地サン、菊地フヨ、佐藤クキ

◎貝田　男三、女二　計五
佐藤宇吉、阿部ハナ、髙橋清兵衛、佐藤深太郎、谷津キク

◎光明寺　男三、女三　計六
遠藤文吉、星野カメ、桜沢クニ、遠藤政治、遠藤ナチ、畑中久兵衛

◎髙城　男三、女二　計五
佐藤セキ、佐藤ユキ、後藤今朝太郎、長谷川市寿、八島儀右ェ門

◎大木戸　男二、女一　計三
阿部長治、阿部庄平、忍コク

◎西大枝　男三、女一〇　計一三
小林イシ、鈴木ツマ、松浦テルヨ、新井ハツ、鈴木シン、菊地ナヲ、佐藤ツル、佐藤幸七、菊地ッ子、瀬戸セツ、井砂周蔵、佐藤弥太郎、佐藤アキ

◎川内　男二、女二　計四
後藤せつ、鈴木清吉、鈴木留右ェ門、佐久間サイ

これを方部別に整理してみると次のとおりである。

地区名	男	女	計
藤田	一七	三一	四八
小坂	一三	七	二〇
森江野	二	二一	二三
大木戸	一一	八	一九
大技	五	一二	一七
計	四八	七八	一二六

県では、例により八十八才以上の高令者に敬老年金（三一〇〇〇円）を贈って永年の労にむくえ、わが国見町でも八十才以上の方々に町長よりお祝いを贈った。

また、これまで中央で行なった敬老会を各地区毎に婦人会の協力を得て実施することにしたのでさし当り「敬老の日」には小坂、藤田の両地区で実施しその他の地区も追って開かれることになっている。

八十八才以上の長命者
○印は新しい該当者

氏名	生年月日	住所
小林タミ	明一〇・一・一〇	山崎
宮沢マツ	同八・三・三	藤田
市川ナジ	同八・五・二四	石母田
佐々木ワキ	同九・三・二三	仝
斎藤トメ	同一〇・三・三	仝
佐藤ユキ	同九・三・三	髙城
忍コク	同一〇・八・二	大木戸
小林イシ	同七・三・五	西大枝
鈴木シン	同九・五・二三	仝
○八島喜一	同一一・三・九	山崎
○佐藤兵助	同一一・七・一	泉田
○宍戸シモ	同一〇・三・二六	徳江
○松浦テルヨ	同一一・五・一五	西大枝

がんばれ農村建設班!!
青年研修所で開班式

新しい農村の後継者、新しい町づくりに挺身しようとするたくましい若人を養成するため、三年前から実施してきた農村建設班も、父兄や町当局の期待にそむかず、年々その実績を示してきた。昨年は呼びかけがおくれたため多くの青年が出稼ぎなどに出て募集に手間どり、発足がおくれたが、今年は年度初めから計画を進め、青年もまた進んでこれに参加したため、募集開始と同時に申込みが殺到し、当局をびっくりさせた。今年度の申込者は次のとおりで、町では去る五日午前九時より青年研修所で開班式を挙げた。

なおこれまで毎年名補導員として班員の指導に当ってこられた五十嵐衛さんは家庭のつごうによって辞任し、後任として共済組合職員の石田十四夫さんが任命された。

記

朽木	勝之	18	小坂
黒田	勝夫	19	泉田
菅野	光良	18	内谷
赤坂	斉	19	〃
中野	忠一	18	藤田
八島	毅	18	〃
佐久間	利春	18	森山
村上	正勝	22	徳江
徳江	吉郎	17	〃
蓬田	正一	15	〃
松浦	新一	19	大木戸
鈴木	幸一	17	髙城
遠藤	俊勝	17	光明寺
松浦	金光	17	〃
三浦	寛	18	光明寺
髙橋	一吉	18	貝田
関根	一郎	16	髙城
小林	憲一	19	西大枝
井砂	善栄	20	〃
木村	正義	19	川内
鈴木	文夫	18	〃
鈴木	一男	18	〃

このときがあぶない!!
居眠り運転をなくそう

これから、自動車の運転者が居眠り運転をして、センターラインをこえ、反対がわからくる車と正面衝突し、死者を出すという事故が多くなります。

昨年、県内で居眠り運転によって起きた事故は一〇八件で、よっぱらい運転、無免許運転、スピード違反などとともに交通事故の大きな原因となっています。

居眠り運転の場合、事故の現場にはほとんどブレーキを踏んだ跡がなく、安全地帯、家屋、駐車中の車に正面衝突、通行中の人をはねとばすなどちょっと考えられない事故が起きています。

この居眠りは、なんといっても疲労が原因となっていますので、つねに自分のからだを最上のコンディションに保ってゆくとともに、次のことに注意してください。

●長時間の運転は、居眠りを誘うことになるので、必らずじゅうぶんな休養をとって、気分を転換するようにします。

●車の中の温度が高すぎると居眠りの原因になるので、新鮮な空気をたえず入れるように心がけます。

●ねむいときは、絶対に運転をしないで一時停車して休みましょう。

●夜間の運転や悪天候の運転は、自分では気がつかないうちに疲労が重なり、居眠りしやすいので注意しましょう。

＜このときが危ない＞

1 普通の表情がなくなり、色が悪く、皮膚につやがなくなったとき。

2 しよぼしよぼした目つきになり、まばたきがふえ、まぶたがピクピクするとき。

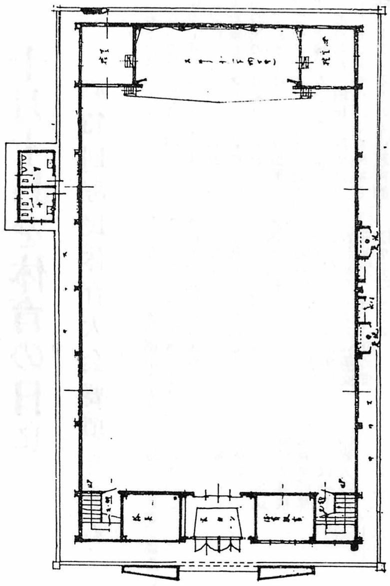
3 あごがでて、背なかが丸くなり、運転台で尻をモジモジさせ、生あくびが出るとき。

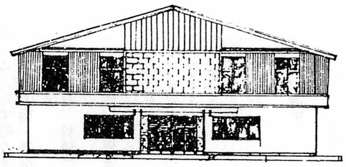
4 頭がボンヤリして、考えがまとまらず、たえずイライラして、最後になにもやる気がしなくなったとき。

5 動作が鈍く、不器用になり外のしげきに対する反応がおそく、不正確になったとき。

6 足がおもく、からだの力がぬけたようなとき。

郡内一の体育館きまる





県北中学校に体育館ができることになった。現在の講堂は一町二か村の組合立として発足当初に建てられたもので規模も小さく、体育館としての施設は殆どなく、その後学校統合によって生徒数も増加したので才二体育館の建設が叫ばれていたのである。こんど計画されているものはタテ四〇メートル（二二間）ヨコ二二メートル（一二間）で面積八七五平方メートル（二六五坪）おそらく伊達管内小中学校体育館としては才一級のものといわれるだろう。去る十日入札の結果、仙台市玉田工務店が一、八四七万で請負うことになり、明年二月十日までに完成する。

公園を大切にしましょう
管理委員会発足

わが国見町のシンボルとも見られる観月台公園の環境整備をはかり、町民のためのよりよい公園として維持運営するため、従来の管理委員会を発展的に解消し、新しい機構のもとに新たな公園管理委員会が発足した。これは町内の部落会長、商工会長、土地改良区理事長、藤田区長等を委員とし、必要に応じ随時会長がこれを招集し、目的達成のため必要な事業を行なうことになっており、さし当り八月一日、委員総出で公園の草刈など美化作業をした。尚役員次のとおり。

会長　奥山福太郎
副会長　佐藤健蔵
〃　穂苅計三
会計　秦作蔵
委員　大勝藤繁
〃　稲村彦三郎
〃　熊坂幸平
〃　倉田真吾
〃　吉田勝由
〃　八島建次郎
幹事　渡部直人

【訂正】
七月号「くにみ」才一面「一人のこらず年金加入」の記事中「厚生年金保険や各種の共済組合などに入っている人やその奥さんはこのような年金で保障されていますから国民年金からははずされております。」のつぎに左の文を入れてください。
（ただし奥さんは希望により加入することができることはこれまでどおりです）
（編集係）

◎町民体育大会……十月十日午前九時より……藤田小学校で

十月十日を体育の日に

去る六月二十五日法律オ八六号「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」の成立によって、われわれが多年要望してきた「体育の日」が国民の祝日に加えられた。

これまではスポーツ振興法オ五条によって、毎年十月のオ一土曜日を「スポーツの日」と定められ、国民の間にひろくスポーツについての理解と関心を深めるとともに積極的にスポーツをする意欲を高揚することになっていたわけであるが、こんどは名前も「体育の日」と改め、正々堂々旗日の仲間入りしたのである。

われわれは、同時に設けられた「敬老の日」及び近く決定される「建国の日」と共によくその趣旨を体し、単なる公休日として大手を振って休める日とすることなく、あらゆる地域および職域で、それぞれの生活の実情に即したスポーツを実行し、もって自分の心身の健全な発達と明るく豊かな町民生活の形成に寄与したいものである。

わが国見町では町村合併と共に実行して来た恒例の町民体育大会をこの日に行なうことになり、いま準備中であるが、尚各地区、部落、団体職場などで独自の計画を立て実施してもらいたい。

第13回町民体育大会要項きまる

予定種目（都合により変更することあり）

◉個人競技

○一般の部
- 一〇〇メートル（女）
- 二〇〇メートル（男）
- おしどりレース（男女）

○青年団、青年学級の部
- 借りものレース
- 君の名は
- 一五〇〇メートル

○婦人会、婦人学級、農協婦人部
- スプンレース
- 札合せ
- 鳩ポッポ

○白ゆり会
- 借りものレース

○農青連、農研団体の部
- サックレース

○消防団
- 一〇〇メートル

○交通安全会
- ゆっくりいそげ

○軍恩連
- びんつり

○PTA
- おててつないで

○老人クラブ
- 宝ひろい

○議会、教委、部落長、来賓
- 輪まわし

○役員
- 輪まわし

○農協
- 有線放送

◎団体競技

○青年の部
- 女は強し

○婦人の部
- ボール送り
- 交通安全
- みんなで守りましょう

○白ゆり会、議会対抗
- 玉入れ

○農青連、農研団体
- 俵運び

○消防団、軍恩連
- オバQレース

○交通安全会
- 交通安全標語つくり

○PTA
- 綱引き

○老人クラブ
- 玉入れ

○農協
- 共同選果

◎演技
- 豊年踊り（全員）
- フォークダンス（青年）
- 東京花笠音頭（婦人）
- 日本ばやし（〃）
- 明治前夜（〃）
- フルーツ音頭（〃）
- いざかまくら（消防）
- 野試会（剣友会）
- 肩たたき（老人）

◎リレー
- 八〇〇メートルリレー（青年）
- 一六〇〇メートルリレー（消防）
- 五〇〇メートル（職場女）
- 一〇〇〇メートル（職場男）
- 一〇〇〇メートル（部落）

読書グループ講座…㈡
本とマス・コミとの違い

前々号では、マス・コミにはいろいろな特性があり、これをつらぬく根本的な「本性」として「全く一方的だ」ということを述べました。何万、何百万の大衆に向って、繰り返えし呼びかけるテレビ、それをだまって聞いている人間「ウソも百遍」「すぐはやる」「クセになる」「同じ程度の脳みそになる」……考える力も習慣もない人間、同じ型にはまった人間ばかりが世の中にできる……考えるとそら恐しくなります。

本もまた一方的だという点ではまったく同じです。だが次のような点で、他のマス・コミと非常に違っています。

(1) 一遍かぎりではない
(2) 自分のスピードで読める
(3) 自分の勝手な想像ができる
(4) 時間に制約されない
(5) 特定な機械もいらない
(6) 自分なりにまとめることができる

少し説明を加えましょう。

(1) テレビやラジオは、全く一遍こっきりで、もう一度見たいとか聞きたいとか願っても再び同じものは現われてこない。そのかわり、放送局が準備したものだけは、二度でも三度でも現われます。

本は、自分が読んだものであるかぎり、再び自ら欲する場所を開いてそれを見ることができます。

(2) テレビやラジオは、聴視者の能力を無視して、勝手なスピードでどんどん過ぎ去っていきます。

しかし、本はつねに自分のスピードで読むことができます。

(3) テレビやラジオは、特定の人の声や姿が現われ、また特定の景色が現わてまいります。つまり、聴視者の勝手な想像を許さないわけです。

ところが、本は、読者の想像を最大限に許します。

(4) テレビやラジオは、与えられた時間以外には聴視することができません。

ところが、本は、読者自身が決めた時間に読むことができます。

(5) テレビやラジオは、特定の機械を必要とします。

本は、肉眼があればよろしいのです。

(6) テレビやラジオは、トビトビの絵や話をつなぎ合わせてドラマやものがたりを構成します。したがって、この断片的な絵や話をつなぎ合わせる能力がないと、全体としての意味がつかめません。こころみに外国映画を見てごらんなさい。部分的には、あそこがよかった、ここがよかったというふうにわかりますが、なかなか全体をつかみとることができません。

ところが、本は、たといトビトビのところがあっても、前にもどって、不明な点を明らかにし、自分で全体をつなぎ合わせることができます。

むすびとして、

(1) 一人一人が孤立することを避けて、何らかの形で仲間を求め、仲間と話し合いをする共通の広場をもちたい。

(2) 話し合いの材料としては、身辺にも、また遠いところにも、いろいろあるが、本が一番適している。

つまり、マス・コミの中で自分を見失わないために、自己の主体性を確立するためには、読書グループほど恰好なものはないように思われます。

（以下次号）

社会を明るくする話
第3話　看板だけの日本人

大昔のような原始的な生活をするなら別ですが、現代のような進歩した分業の社会では、とても人間ひとりだけの力で生きてゆくことはできません。

かりに生きてゆけるとしても、それは山奥の仙人のような生活で、おいしい物を食べ、立派な服を着て、テレビなどの娯楽を楽しむというような文化的な豊かなくらしはとうてい望めないでしょう。

このように、私たちの生活を豊かにするには、まず、その地域社会を発展させることが大切です。そのためには、道路をよくして交通の便を図るとか、水道を引きあるいは病院を建ててみんなの保健衛生を図るとか、工場を誘致して産業の振興を図るなど、地域社会としての問題がたくさんあるわけです。

これらの問題は、少数の人だけの力ではなんともできないもので、地域社会の共同の力で解決する必要があります。そうして、こういう地域の問題を自分たちで考え、外部の人の指図を受けないで、自分たちの力で解決していくことが地方自治といわれるものであり、この地域社会として市町村や県があります。市町村や県の政治は、その地域の住民の選挙によって選ばれた代表者を通じて行われるしくみになっています。国の政治についても同様で、国全体として解決しなければならないさまざまな問題を国民一人一人に代って代表者の国会議員に処理してもらうわけです。

ところで、「政治」などと聞くと全く私たちの生活とは縁とおいものと考えられがちです。「政治なんていうものは、わしらのようなしろうとにはわかりっこない。そんなものは政治家にまかせておけばよいんだ。」という人が案外多いのではないでしょうか。

そして、選挙のときは、痛くもかゆくもないので、パチンコ玉でもはじくように、何にも考えないで投票する。甚しくなると「選挙はなるようにしかならん。」とか「おれ一人くらい投票しないでもどうということはない。」などいって投票しない人もおります。せっかくの民主政治もあったものではありません。

民主政治は、住民のみんなが、自分たちの幸福のために、自分たちの力で政治を行なうことなのです。この政治を能率よく経済的に行なうために、代表者にまかせるとしても、政治の実権を握る者が住民一人一人であることに変わりはありません。

私たちは、民主社会の構成員として平等に持っている政治に参加する権利（この権利は、男女の別、身分の上下、財力の貧富にかかわりなくすべて平等の力を持っている）を選挙を通じて代表者に委ね、その代表者によって政治を行なっているのです。

従って、選挙の際に棄権する人は政治に参加しない人であり、またよく考えないで投票する人は、自分の社会のしあわせも考えない人であって、いずれも、民主国家日本の国民として本当に軽べつされる人間です。

（選挙啓発資料40より）

【写真】讃衡蔵前で

平泉を訪ねる
（第9回史跡を訪ねる会）

午前五時四十四分発とはいささか重労働の感じ、けれ共最少の経費で最大の効果を挙げる為止むをない。駅に集った面々少年の如く、心は遠く平泉へ先行して浮々している。

今回は舘長さん指揮のもとに両先輩と、それに旗持で平泉通の三品先生などレギュラーのほかに佐藤久吉氏や蓬田先生のご参加を頂いた。

出発、仙台迄は日曜とあって長い通勤列車もガラあき、雲低くたれ込めて静かな朝を車は一路平泉へ。仙台で「くりこま」に乗り換え一の関へ、旅は急行ダナと誰かが洒らす。「あゝ松島や」も束の間、九時四分には一の関着。駅前に岩手県南バスターミナルあり、中尊寺行に乗る。約三十分で山門前の終点着。

先づ弁慶の墓に詣でる。「ナンダ新しいナ」と碑の裏を見て昭和四十一年五月建に重ねてオヤオヤ。月見坂、この辺からの杉並木は藤原否義経を思わせるに充分。弁慶堂で判官主従の甲冑姿を見る。この堂は小さいがなかなかバラエティーに富む国宝クラスの文化財でぎっしり。

東物見から東稲山（たばしね）と北上川の眺め何ともいえぬ。峰の薬師堂の前に石の宝形五輪塔あり、日本最古の貴重品。鐘楼も高野山の武将が献じたといい土盛りした平屋建で変った感じを受けた。

讃衡蔵とは良くつけたもの。コンクリート建の最近の造り、藤原清衡、基衡、秀衡三氏のミイラの入った金泥を塗った棺や棺内にあった枕、着物、珠など金色堂修理中のため内陣の仏像が金色燦然目もくらむ程である。その内容唯々驚くばかりの国宝と重文、一日二日では長つくせない思い。この前来た時と全然違う気持で見る事が出来た。

次は愈々なつかしの金色堂、今は修理中の為コンクリートの覆堂（サヤ堂）だけが出来上っている。「さみだれのふり残してや光堂」の芭蕉の句もトタン囲いの建築小屋の蔭にかくれている。経蔵は金色堂と共に一度も火事に遭わぬ重文で内容も国宝がずらり。金色堂の古い覆堂が今その脇に移してあり、中に五分の一の金色堂模型がピカピカ置かれている。懐古館から北に入り、かや葺の能楽堂を見て県営閑山亭で昼食、衣川の古戦場から東稲山まで一望出来る西物見の場所に八百年前と不鈞合な建物を造ったものである。

人金堂跡の発掘調査を右に帰路につく。

判官館を左に途歩で平泉中運動会の横を通り毛越寺（もうつうじ）に出る。ここは特別史跡と特別名勝の二重の国宝指定地、四万坪の広大な敷地は殆んどが礎石を見る処「夏草やつわものどもが夢の跡」の通り、唯大泉ヶ池を中心とした平安式自然公園は実に綺麗で造らない姿は基衡公八百五十年前の姿を見ることが出来る。

文治五年閏四月三十一才の義経を衣川で殺した藤原泰衡が頼朝をおこらせ、我郷土阿津賀志山に頼朝の軍勢三十万を迎え、庶兄西木戸太郎国衡を総大将として二重堀を構築し防戦したが、鳥取越の辻廻奇襲によって破れたのが八月十日であり、泰衡は九月三日に殺され奥州は平定したとある。金と漆と馬による藤原文化の終焉が今から七百七十七年前という珍らしい勘定でもある。さて大休憩の後車を頼み達谷窟（たっこくいわや）に至り義経のテレビ赤ばろの住んだ？洞窟を見て在泉中義経が度々馬を馳せた厳美渓に行く。十六才の遮那王が水と語り花と笑ったのもさこそと思う。重畳たる岩盤、奇岩、滝淀み、渓谷美は又数時間の観賞価値がある。

一の関四時十三分発で藤田駅に降りたのが八時四十分であった。短時間乍ら有意義な研修ではあった。（野村記）

妊産婦と赤ちゃんに牛乳を…

母子保健法が施行され、今年度から妊婦、産婦、乳幼児に牛乳が支給されることになりました。

牛乳が支給される基準は次のとおりですが、くわしくは妊婦届、出生届をする際に住民課保健係におたずねください。

記

㈠生活保護法による保護世帯の妊産婦と乳幼児
㈡当該年度の市町村民税非課税の世帯及び当該年度の市町村民税を減免された世帯の妊産婦及び乳幼児
㈢市町村民税均等割のみ課税世帯に属する妊産婦及び乳幼児のうち、保健所長か又は市町村長が依頼した医師において母子栄養食品が必要と認められたもの

（国見町役場住民課）

次回の史跡めぐり案内

○目的地　梁川町方面
○期日　十月四日（火）
○集合　九時半までに梁川公民館に集まる　藤田九時発のバス利用
○コース　公民館、新公園城跡、富野八幡神社その他
○講師　梁川公民館長　丹羽秀也氏
○準備　昼食、会費百円
○新会員大歓迎